

～生育速報～

稲作情報

I. 7月11日現在のコシヒカリの生育状況

H28. 7. 12 JA越後さんとう

速報!

地区	田植日	株/m ²	草丈 (cm)	莖数 本/m ² (本/株)	葉数 (葉)	葉色 (SPAD)
寺泊	5/ 7	16.6	76	415 (25)	11.4	35.5
和島	5/ 6	16.2	74	367 (23)	11.8	34.9
出雲崎	5/ 4	17.8	74	408 (23)	11.8	36.3
与板	5/13	17.3	74	467 (27)	11.1	35.4
三島	5/ 8	17.0	78	511 (30)	11.6	36.0
越路	5/13	17.9	75	417 (23)	11.1	35.8
平均	5/ 9	17.1	75	424 (25)	11.4	35.8
7/10指標値	5/10	18.2	66	450 (25)	10.7	36.0

指標値比：草丈 114%、莖数 94%、葉数+0.7、葉色-0.2

→【草丈：長い、莖数：やや少、葉数：早い、葉色：並み】

- ①生育が平年より早く、コシヒカリでも多くのほ場で「**幼穂形成期**」を迎えています。
- ②地域・ほ場間差が大きいいため、必ずほ場ごとに**生育診断**を行い、**穂肥対応**に努めましょう!

また、葉色が急激に低下したほ場で、**葉色の淡い状態が続くと“栄養凋落”による品質低下が懸念される状況です。**

出穂期まで葉色値 30 以上を必ず維持!



みんなて
今週はLet's生育診断!



確認!

今週がコシヒカリの生育診断の適期!

★★ 水稻の“生育診断”はJAにお任せください! ★★

皆様からの要望で現地ほ場に出向き、水稻の幼穂長や草丈・莖数・葉色等の生育を診断し、穂肥施用と栽培管理に係る個別指導を致します。【ぜひご活用下さい!】

生育診断チーム 設置期間：7月上旬～8月上旬頃まで

～ 詳細につきましては、お気軽に最寄りの営農センターへお問い合わせください! ～

今後の天候
(気温)に注意!



Ⅱ. 病害虫対策

6/29に新潟県病害虫「カメムシ多発生」予察注意報が発令されました!

警戒!

- ① いもち病感染好適条件が断続的に続いたことから、**地域・品種を問わずいもち病の発生が確認され、被害の拡大が懸念されます。**
また、**紋枯病や稲こうじ病にも注意が必要です。**

➡ **“適期防除”を徹底しましょう!**

【JA米基準:緊急防除剤】

	薬剤名	使用量・希釈倍数	摘 要	
治療剤	カスミン液剤	1000 倍	いもち病	※穂揃い期まで
治療剤	バリダシン(液剤 5)	1000 倍	紋枯病等	※収穫 14 日前まで
	バリダシン(粉剤 DL)	3~4 kg/10a	紋枯病等	※収穫 14 日前まで
予防剤	撒粉ボルドー(粉剤 DL)	3~4 kg/10a	稲こうじ病等	※出穂 10 日前まで

- ② 7月4日~5日の水稻病害虫予察調査において…
「斑点米カメムシ類」の多発生が確認されています。

➡ **早生品種についてはスタークルの散布時期が近づいています! 適期(出穂期 5~7 日後)に散布を行いましょう!**

薬剤名	使用量	散布時の水管理
スタークル粒剤	3 kg/10a	田面が湿った状態(飽水状態)~深い部分で 3 cm 程度の湛水
スタークル豆つぶ	250g/10a	ほ場全体を 3~5 cm 程度の浅水に湛水(漏水田等での使用×)

“一斉草刈りウィーク” 7月16日~7月22日
~ 地域全体で斑点米カメムシ撲滅運動! ~



Ⅲ. 今後の水管理

幼穂形成~登熟促進には水管理が重要です!

重要!

* 管内のほ場については、降雨の影響から…

軟弱になっているところが、多く見受けられます。

➡ 今後もしばらくは不安定な天候が続く見込みです。水稻も最も水分を必要とする“**出穂期**”を迎えることから、**浅水の間断灌水や飽水管理を使い分け、コンバイン収穫に支障のない地耐力の確保に努めましょう。**

適正な水管理で、登熟後期まで土壌水分と後期栄養を維持し、稲体を健全に保ちましょう!

